

YSB-5KCM

設置マニュアル



安全上のご注意

★装置を安全に設置していただくための情報を記載しています。
作業前に本書をよくお読みになり設置作業を行ってください。



- ・装置カバーは取り外さないでください。
装置内部にはバッテリーが搭載しているので感電の恐れがあります。



- ・装置に濡れた手で触れたり、濡れた雑巾等で拭かないでください。
装置内部にはバッテリーが搭載しているので感電の恐れがあります。



- ・開口部（換気口等）から装置内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込まないでください。感電・火災・故障の原因となります。



- ・油煙、湯気、鉄粉、ほこりなどがあるところには置かないでください。
絶縁劣化・部品劣化の原因となります。



- ・装置を安全にご使用いただくために、2ページ「装置設置環境」をご確認ください。
耐震マット付固定脚の性能を発揮するには床材が影響します。
必ず3ページ「設置床面について」をご確認ください。



- ・装置は重量物です。取り扱いには十分ご注意ください。
作業を行う際は、水平、かつ平らな場所で行ってください。
また、転倒・落下等の事故がないよう十分ご注意ください。



- ・耐震マット付固定脚は、地震の際に被害を最小限に抑える為のものであり、
耐震性を保証するものではありません。

その他注意事項

- ・カーペット等の毛足のあるものやフッ素加工など、撥水性・疎水性のあるものは効果が無いあるいは効果が薄れます。
- ・斜面にはご使用にならないでください。
- ・耐震マットの粘着が汚れても水洗いをして乾かせば繰返し使用できますが、粘着性が低下している恐れがあります。（ゴミ・油分等の付着状況による。）
- ・耐震マットに傷や汚れが残った場合は耐震マットを交換してください。
- ・床面がPタイル及び長尺シートの場合は、必ず取外し時にアルコールを吹き付けながら作業を行ってください。
- ・経年変化により変色する場合がありますが、基本性能には問題ありません。
- ・耐震マットの耐用年数は8～10年です。（使用条件により異なります。）
- ・耐用年数を超えて使用しないでください。
（早めに耐震マットの交換を行ってください。）

装置設置環境について

装置を安全にご使用いただくために設置環境をご確認ください。

設置場所：屋内（塩害・塵埃・腐食性ガス・異常振動なきこと）

周囲温度：0～40℃

周囲湿度：15～85%RH（結露なきこと）

標 高：1000m以下

耐震マット付固定脚について

★耐震マットには耐用年数がありますので早めの交換をお願いします。

納入時取付耐震マットサイズは固定脚専用に製作されたオリジナルサイズです。

同サイズをご希望の場合は弊社までお問い合わせください。

また、市販のメーカー推奨交換品であれば性能に違いはなく、安心してご利用いただけます。

【納入時】

メーカー：プロセブン株式会社

商 品 名：プロセブンバイオマスマット（100×50×5t）

耐用年数：8～10年

使用枚数：2枚（固定脚1個につき）

【メーカー推奨交換品】

メーカー：プロセブン株式会社

商 品 名：プロセブンバイオマスマット

型 式：B-N50G（50×50×5t）

耐用年数：8～10年

梱包枚数：4枚

使用枚数：4枚（固定脚1個につき）

設置床面について

設置面にはゴミ・埃・油分・水分等が無い条件にてご使用ください。

★アルコール等揮発性の高い溶剤で設置面を綺麗に拭き上げることを推奨いたします。

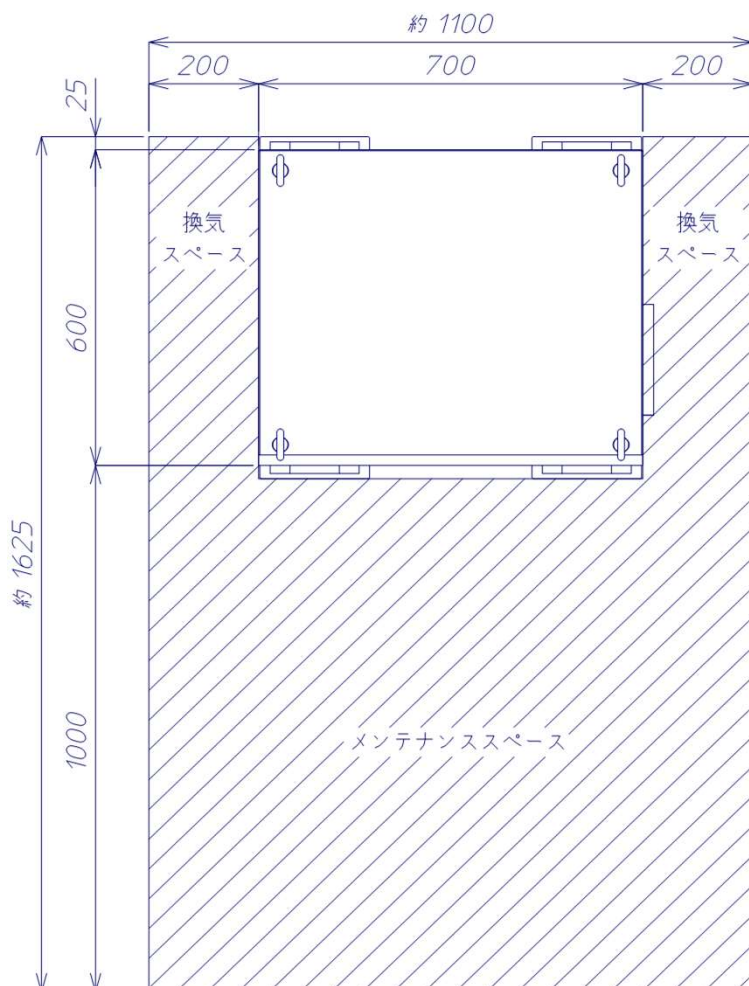
★適応度の低い床材では耐震マットの効力が弱まりますのでご注意ください。

設置面床材	適応度	備 考
SUS板	◎	
ポリウレタン塗装	◎	クラック及び塗装剥がれ部に対しては剥がし時に塗装を破壊します。 必ず補修後設置してください。
エポキシ塗装	◎	
P タイル	◎	
焼付塗装	◎	
長尺シート（ロンリュウム）	◎	剥がす時には必ずアルコール・水等を吹きかけながらゆっくり剥がしてください。 長尺シートが伸びてしまう事があります。
コンクリート（表面均し有）	○	
コンクリート（表面粗い）	×	
畳	△	剥がし時に畳を傷つけますので推奨いたしません。
壁紙	×	
絨毯（カーペット）	×	
フローリング	○	
水溶性塗装	×	

装置設置スペースについて

装置を設置する際は必ず図の通りスペースを確保してください。

- ★装置左右側面に換気口がありますので、必ず壁から200mm離して設置してください。
- ★装置は前面メンテナンスとなっております。装置の前には物を置かないようご協力ください。
- ★左側面壁付けをされた場合は、メンテナンス時に前面カバーを取り外すため、作業員により装置を動かす場合がありますのであらかじめご承知おきください。



後面

耐震マット付固定脚用スペース (25mm)

前面

メンテナンススペース (1000mm)

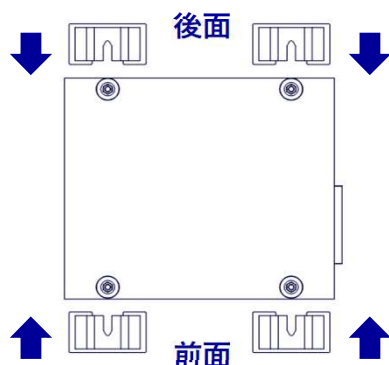
左右側面

換気スペース (200mm)

耐震マット付固定脚取付向きについて

★取付向きには十分に注意し取り付けてください。

取付向きを誤ると装置が固定されず、地震などの揺れにより装置が動く危険があります。



後面

後ろから前に向かって差し込む

前面

前から後ろに向かって差し込む

装置設置方法

Step1 アジャスターフットを上げます。

装置底面に前後4本のアジャスターフットがあります。

床面から浮くようにアジャスターフットを廻して上げておきます。

★アジャスターフットを上げずに装置を移動させると床に傷をつける恐れがあります。



Step2 設置位置に装置を移動します。

装置の後輪キャスターは固定式の為、移動する際は必ず装置前面から後方へ向かって押し込むイメージで移動させてください。

★後面壁付けをされる際は、この段階で後面のみ耐震マット付固定脚を床に取付けます。

装置を仮置きしアジャスターフットの位置に合わせて取付けます。

（耐震マット付固定脚の位置が決まったら、床に印をつけておくことをお勧めします。

耐震マット保護フィルムを剥がして取付ける際、位置がずれないようにご注意ください。）

取付方法は6ページ「耐震マット付固定脚取付方法」を参考ください。

また、後面側アジャスターフットは極力床を擦らない程度まで下げてから装置を移動させてください。（耐震マット付固定脚にアジャスターフットを差し込んだ後からは、アジャスターフットの高さ調節は出来ません。）



Step3 アジャスターフットを下げます。

床面に接地するまでアジャスターフットを廻し下げてください。



Step4 耐震マット付固定脚を取付けます。

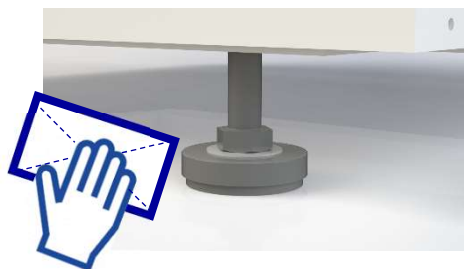
6ページ「耐震マット付固定脚取付方法」を参照してください。

★後面壁付けをされる際は、装置を置く前に耐震マット付固定脚を床に取付ける必要があります。装置を置いてからでは取付けられませんので、必ず「Step2」で取付を行うようご注意ください。

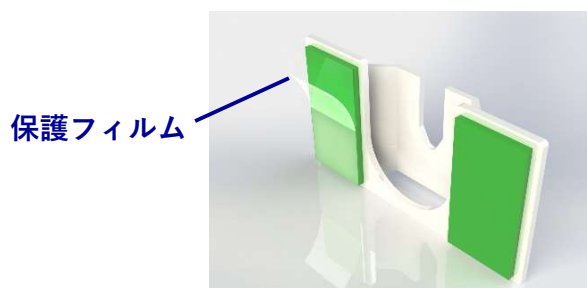
耐震マット付固定脚取付方法

Step1 金具が設置される床面をアルコール等できれいに拭き上げます。

★ゴミ・埃・油分・水分等が含まれると耐震マットの効果が発揮出来なくなります。

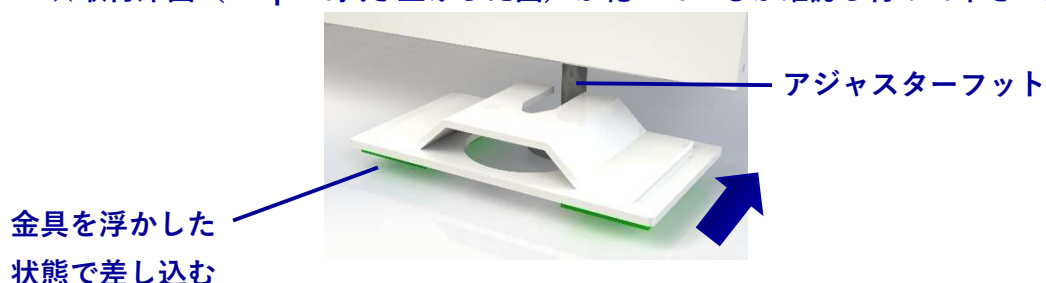


Step2 金具裏面の耐震マット保護フィルムを剥がします。



Step3 金具を浮かした状態でアジャスターフットにしっかり差し込み、床面に置きます。

★取付床面（Step1で拭き上げた面）が乾いているか確認し行って下さい。



Step4 耐震マットと床の間に隙間が無いか確認します。

★ゴミ・埃・油分・水分等が含まれると耐震マットの効果が発揮出来なくなります。
床面にしっかり取付いていることを確認してください。

耐震マット付固定脚取外し方法

Step1 専用工具の準備

別売り「耐震金具メンテナンスKIT」を用意します。
（お持ちでないお客様は弊社までお問い合わせください。）



専用バール



粘着防止シート



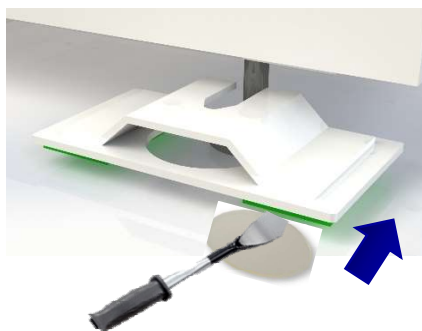
スライディングシート



保護パッド

Step2

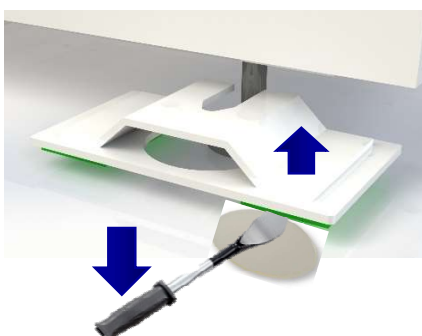
保護パッドを使用し、専用バールを金具と床の端面隙間（5mm）に差し込みます。



Step3

専用バールをゆっくり押し下げ、その状態を保持します。
しばらくすると徐々に耐震マットが床から剥がれてきます。

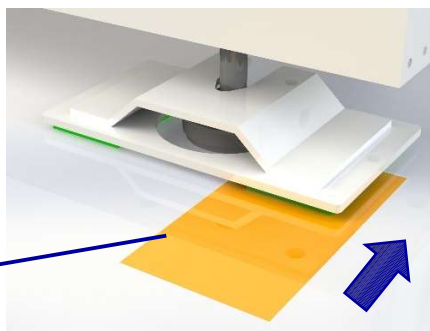
★急に持ち上げると床材が破損する（剥がれる）場合がありますので注意してください。
耐震マットと床面の間にアルコールを吹き付けなじませると容易に剥がれます。



Step4

耐震マットが剥がれたら、床面と耐震マットの間に粘着防止シートを差し込みます。

粘着防止シート

**Step5**

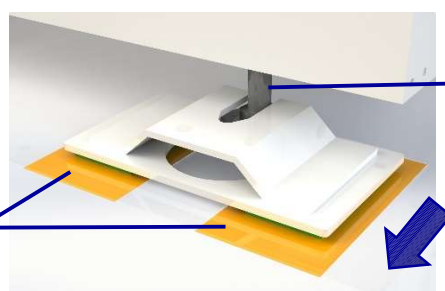
耐震マットが剥がれていない部分に対してStep1～4の作業を繰り返し行います。

Step6

金具の全体に粘着防止シートの差し込みが完了したらアジャスターフットから耐震マット付固定脚を外します。

粘着防止シート

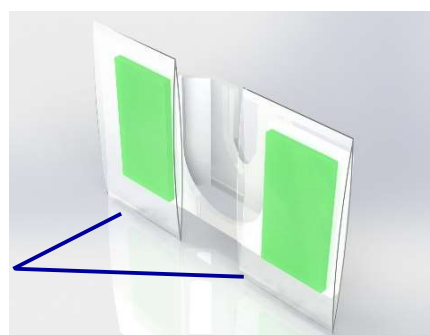
アジャスターフット

**Step7**

取り外した金具は粘着防止シートを外し、耐震マットを水洗いしてください。

乾燥後はスライディングシートを貼り保管してください。

スライディングシート



東京営業所

〒143-0016

東京都大田区大森北2-4-18大森ビル

TEL.03-3767-8861 FAX.03-3767-7080

大阪ZEO

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島5-12-8

TEL.06-6307-2751 FAX.06-6307-2752